

第50回衆議院議員選挙4区ネット討論会 政策比較

国政に対する基本的な考え方

井戸 まさえ

平 将明

谷川 智行

石川 まさとし

目指すべき将来像

公正・公平・透明なルールのもと、年齢、性別、障害の有無等で機会が奪われず、多様な価値観や生き方、人権が尊重される自由な社会。政治と金の問題が起こりえぬ「質の高い政治」により国民が豊かな暮らしを享受し、好循環となることで、環境問題等も含めた現代的課題に関し次世代への責任を果たす社会をめざすべき。

日本の多様で奥の深いアナログの価値をデジタル力で最大化し、持続可能な経済成長を実現し、世界から愛され続ける国。
最先端テクノロジーで、エネルギー自給率、食糧自給率100%超えの日本。

誰もが十分な収入と豊かな社会保障（年金、医療、介護、障害福祉など）によって安心して暮らし、それが経済の好循環を生み出す社会。誰もが自由な時間を持ち、豊かな人生が楽しめる社会。差別と偏見、ハラスメントがなく、自分らしく生きられるジェンダー平等社会。核兵器も戦争も、軍事ブロクもない平和な社会。

- ・国際競争力があり持続的発展ができる国
- ・誰もがチャレンジできてポテンシャルが最大化できる国
- ・安心・安全で質の高い生活ができる幸福度の高い国

現状認識

深刻化する少子高齢化と人口減少、懸念される社会保障制度や財政の持続可能性、拡大する格差、科学技術の劇的な進歩がもたらす経済社会の変容、激化する国際競争、緊張を増す国際情勢等、日本は多くの課題にさらされている。

人口減少などもあり日本は持続可能な社会であるのか。

財界の利益最優先の政治のもと、貧困と格差が広がり経済が長期停滞し国民生活が脅かされている。自民党からは経済再生の具体策は示されず完全に行き詰まっている。裏金事件など金権腐敗が極まりその反省もない。憲法9条が踏みこじられ、敵基地攻撃能力の保有、核共有など、大軍拡、「戦争国家」づくりがすすめられている。

- ・経済の停滞・国際競争力の低下
- ・人口減少・少子高齢化
- ・隣国の安全保障上の脅威の高まり

解決したい課題

30年間経済成長しなかった原因は増税に頼った財政政策と、戦後日本の第2の人口ボリュームゾーンである団塊ジュニアについて、稼ぐ力も消費する力も弱い、いわゆる氷河期世代・ロスジェネとしたことである。
一方で、既得権益と岩盤規制が中抜き構造を温存し、社会・経済の活力と国力を奪っており、解決が必要。

DX、AIなど先端技術のフル実装と規制のデザインで、日本を持続可能な社会に。

金権腐敗政治を一掃する。財界応援から暮らし最優先の政治に転換し暮らしも経済も立て直す。日米軍事同盟絶対の大軍拡・大増税を中止し、9条を生かす外交で戦争のない平和なアジアをつくる。ジェンダー平等を推進し誰もが自分らしく生きられる社会を実現。気候危機打開へ、省エネ・再エネを推進し、原発・石炭火力ゼロに。

- ・可処分所得の低下
- ・世代間の不公平が大きい社会保障制度
- ・腐敗した金権政治

第50回衆議院議員選挙4区ネット討論会 政策比較

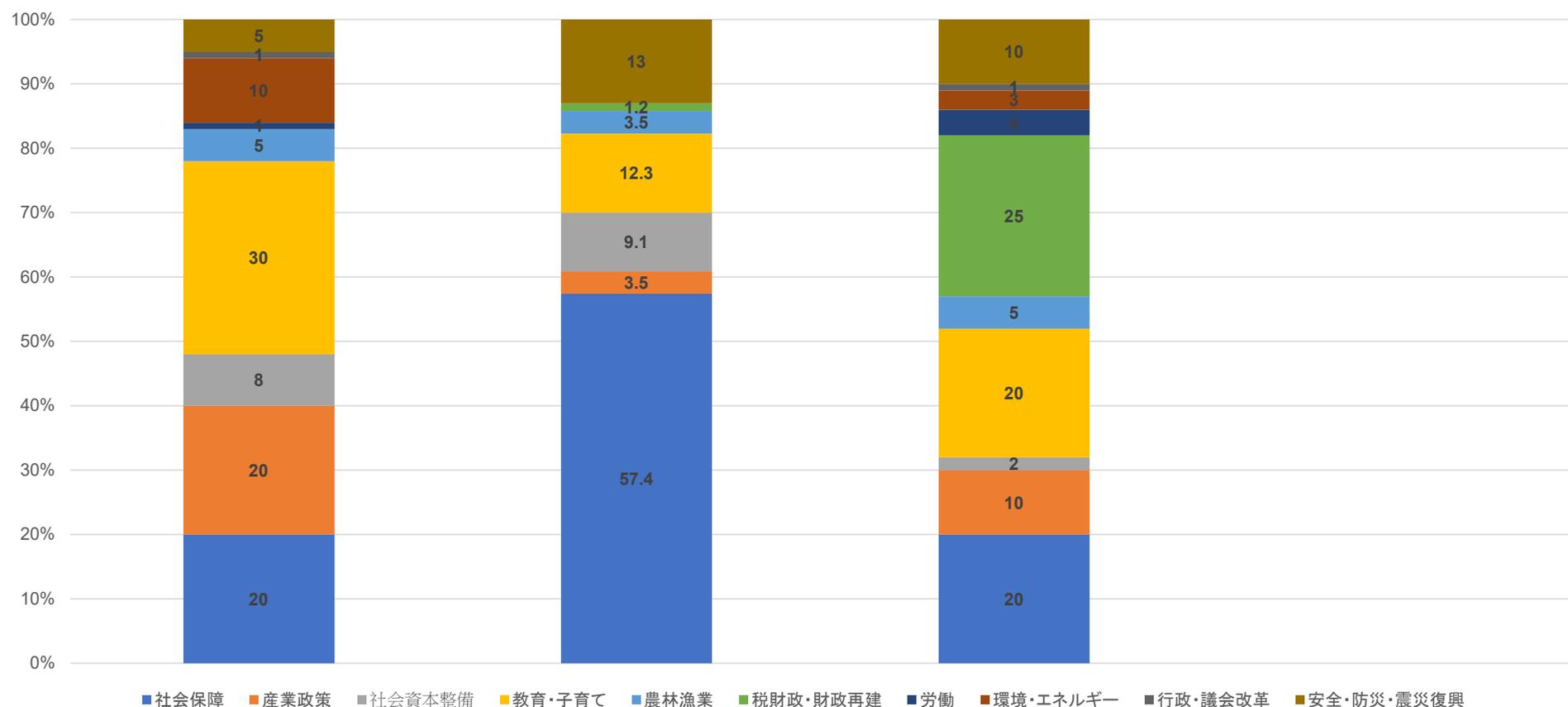
政策分野の注力度（予算を100ポイント持っているとしたときに、各分野へ）の配分

井戸 まさえ

平 将明

谷川 智行

石川 まさとし



課題を解決するための重要政策

第1優先

第50回衆議院議員選挙4区ネット討論会 政策比較

課題を解決するための重要政策 第1優先（「政策分野の注力度」の中で選ぶ）

井戸 まさえ

平 将明

谷川 智行

石川 まさとし

政策

手取りを増やす。
可処分所得の増加

大臣として注力したいデジタル化やサイバー安全保障、そのほか外交についても項目がなく回答できない。

貧困と格差の是正

可処分所得を倍増させる減税・成長戦略・規制改革

数値目標

国民の手取りを増やす。
可処分所得の増加。
103万円の壁対策。

数値目標を示すのは困難です

第50回衆議院議員選挙4区ネット討論会 政策比較

課題を解決するための重要政策 第1優先（「政策分野の注力度」の中で選ぶ）

井戸 まさえ

平 将明

谷川 智行

石川 まさとし

期限

即

2030年

分野

税財政・財政再建

社会保障

税財政・財政再建

第50回衆議院議員選挙4区ネット討論会 政策比較

課題を解決するための重要政策 第1 優先（「政策分野の注力度」の中で選ぶ）

井戸 まさえ

平 将明

谷川 智行

石川 まさとし

予算

年間12兆円+3兆円+α

（2023年消費税10%の半額
+ 社会保険料の軽減分+ 財政出動分）

約41兆円（日本共産党の経済再生プランパッケージの予算額）を税財政の民主的改革、大軍拡中止、大企業の内部留保への時限的課税などで財源を生み出す。
法人税の改革（9.5兆円）、所得税等の改革（2.6兆円）、富裕税など新たな税制の創設（2.9兆円）、軍事費や不要不急の大型開発の削減など歳出改革（8.0兆円）、大企業の内部留保への時限的課税（5年間で10兆円）、「防衛力強化資金」の取り崩し（3.2兆円）、不足分は国債発行などで機動的に対応。

予算をつけるという性質の政策ではないため回答なし

手段

まず、1995年以来約30年間変わってこなかった「年収の壁」対策として基礎控除等を103万円から最低賃金の上昇率1.73倍に合わせて178万円に拡大する。

また消費税を5%にし、積極財政に転換する。

税財政の民主的改革、大軍拡中止、大企業の内部留保への時限的課税などで財源を生み出す。

減税や社会保険料の負担軽減、規制緩和などの成長戦略を通じて、可処分所得を倍増し、私たちの生活を豊かにします。経済成長が、社会保障や安全保障に貢献します。
（規制緩和の例：ライドシェア、人員配置基準）
バラマキの抑制、行財政改革を並行して進めます。

課題を解決するための重要政策

第2優先

第50回衆議院議員選挙4区ネット討論会 政策比較

課題を解決するための重要政策 第2優先（「政策分野の注力度」の中で選ぶ）

井戸 まさえ

平 将明

谷川 智行

石川 まさとし

政策

人づくりこそ、国づくり

大臣として注力したいデジタル化やサイバー安全保障、そのほか外交についても項目がなく回答できない。

裏金問題の真相究明と再発防止のための企業団体献金全面禁止

世代間不公平を打破する社会保障の抜本改革

数値目標

「教育国債」を毎年5兆円発行。

高校までの教育や子育てにおけるあらゆる施策を完全に無償化する。

裏金問題の全容解明、企業団体献金の全面禁止

第50回衆議院議員選挙4区ネット討論会 政策比較

課題を解決するための重要政策 第2優先（「政策分野の注力度」の中で選ぶ）

井戸 まさえ

平 将明

谷川 智行

石川 まさとし

期限

なるべく早く

2025年3月

分野

教育・子育て

行政・議会改革

社会保障

第50回衆議院議員選挙4区ネット討論会 政策比較

課題を解決するための重要政策 第2優先（「政策分野の注力度」の中で選ぶ）

井戸 まさえ

平 将明

谷川 智行

石川 まさとし

予算

5兆円（教育国債）

必要なし

予算をつけるという性質の政策ではないため回答なし

手段

「教育国債」を毎年5兆円発行。

高校までの教育や子育てにおけるあらゆる施策を完全に無償化する。

国会に特別委員会を設置し、集中的に調査を行い真相究明を行うとともに、再発防止のための立法を行う。

医療・介護・年金における負担と給付の世代間の格差が深刻化しています。負担の世代間格差、岩盤規制など、自民党・民主党政権が先送りしてきた課題に取り組む必要があります。
（政策の例：高齢者の医療費3割負担、混合診療解禁といった規制緩和）

課題を解決するための重要政策

第3優先

第50回衆議院議員選挙4区ネット討論会 政策比較

課題を解決するための重要政策 第3優先（「政策分野の注力度」の中で選ぶ）

井戸 まさえ

平 将明

谷川 智行

石川 まさとし

政策

防災・減災の観点からまちづくりと多様な防災モジュール

大臣として注力したいデジタル化やサイバー安全保障、そのほか外交についても項目がなく回答できない。

最低賃金を時給1500円以上に引き上げる

政治腐敗を浄化する政治改革

数値目標

常にアップデートが必要

年次改革で、最低賃金を全国一律1500円以上に引き上げる。

第50回衆議院議員選挙4区ネット討論会 政策比較

課題を解決するための重要政策 第3優先（「政策分野の注力度」の中で選ぶ）

井戸 まさえ

平 将明

谷川 智行

石川 まさとし

期限

即

2025年

分野

安全・防災・震災復興

労働

第50回衆議院議員選挙4区ネット討論会 政策比較

課題を解決するための重要政策 第3優先（「政策分野の注力度」の中で選ぶ）

井戸 まさえ

平 将明

谷川 智行

石川 まさとし

予算

できるだけ多く

5年で10兆円

予算をつけるという性質の政策ではないため回答なし

手段

防災・減災の観点からまちづくりを見直す。防災インフラ整備に重点を置き、公共インフラの点検・維持管理や計画的な更新を進めるため「国土柔軟化政策」として流域治水やグリーンインフラの取り組みを進める。

また、日本の産業力を活かし、多様な防災モジュールを実装化する。「命のコンテナ」「命の口座」を設置する。

539兆円に膨れ上がった大企業の内部留保の一部に時限的（5年間）に課税し、10兆円の財源をつくり、中小企業を直接支援することで、最低賃金の引き上げを行う。

自民党の裏金問題は明らかな犯罪です。東京4区の平氏も1200万円以上の違法献金の可能性を週刊誌から指摘されています。自民党の腐敗した金権政治を変えていくには、企業団体献金や政策活動費の廃止、旧文通費の透明化などが必要です。